

さくら茶会 会記

平成十九年三月二十五日(日)

成城松花庵・花の間

床 おぼろ月夜 海少しある 木の間かな

里村紹巴 慶長七(一六〇二)没室町末

花入れ 備前 八代耕甫在判

花 黒文字 貝母 えんれい草

香合 宗玉水焼き

(樂家脇室四代一入の子が山城の玉水でおこした)赤 蛤

十代石箱在判

釜 時代 桜地紋

道也・・・?西村道治 西村道弥家三代享保年間没

炉縁 曙塗り 正春造

棚 長板 宗良好青海波蒔絵 表完造

水指 栄螺 龍岳造

薄器 遠州好み 柳蒔絵茶桶 小堀宗中書き付け一八六七

茶杓 耕甫八 一八二〇 銘 小鱗

共筒 朗齋・宗員・石箱十 一八六八 箱

茶碗 萩 十代三輪休雪(休和)造

替 老松 永樂善五郎造

替 松籟の海 真葛香齋造

建水 銀溜

蓋置き 唐銅蟹

水次 銀 独楽つなぎ 清五郎造

茶 和光 小山園詰

菓子 さくらきんとん 鶴屋八幡製

器 雪花台鉢 大樋長左衛門(九)

伊万里銅鑼鉢

永福窓 鉢 小山不二夫